

第3号議案

「令和4年度」経和会事業計画(案)

1. 活動方針

会員によるボランティア体制も移行後4年目を迎え、ホームページの刷新やFacebookの活用も3年目を迎えました。引き続き、埼玉大学・大学院経済学関係同窓生の交流を中心に同窓生、在学生、教職員、地域社会など全ての経済学関係者の幸福を追求していきます。特に、学部、学生との協力を強めていき、結果として埼玉大学や経和会の埼玉県でのプレゼンスの向上を図って参ります。

2. 概要案

(1) ホームページの刷新、Facebookの活用

- 引き続き、ホームページの充実、Facebookの活用を進めていきます。
- 経和会員の協力を得ながら、更新内容の充実を図ります。
- 学年別や職場単位での同窓会活動の実施状況をホームページに広く掲載することで経和会活動の情報宣伝を図ります。

(2) 講義支援施策

① 寄付講座

- 寄付講座「実践ベンチャー論」を継続的に実施致します。また、第2期（令和4－7年度）の内容充実のためにクラウドファンディングなどを通じて寄附講座への支援者募集に努めます。

② 自主ゼミ

- 夜間主学生の授業を補完する「自主ゼミ」活動を継続的に実施致します。

(3) 就職支援活動

- 社会状況にあわせ、オンライン対応とライブ対応を検討していきます。
- 従来以上に学生から就職志望の高い公務員について支援内容を厚くします。
- 現役学生に対する個別支援だけでなく、保護者の皆様向けのセミナーを開催します。
- 責任者として後藤理事を就職支援グループ長に委嘱しリードして頂きます。
- 「保護者向け就職支援セミナー」をはじめ、学生に対しては希望者に「個別面接」等を実施し、大学の就職支援授業の側面支援を行います。
- 講師の交通費補助の他、若手相談員のリクルート活動を推進致します。

(4) 経和会サロン

- 社会状況にあわせ、オンラインとライブを適切に運用します。
- 会員の志向にあわせた、ミニ経和会サロンも検討します。
- 各界で活躍されている経和会員に支援を頂き、現役学生も参加しやすい企画を心がけます。
- 開催時期は2月を基本としますが、内容、時期、会場含め検討を致します。

(5) 個別活動支援

①学部・学生との協力強化

コロナ、オンライン授業の通常化により、交友関係が薄くなる、つくりにくい等の課題があります。学部と連携し、新入生歓迎行事などの支援を通じ、サポートを検討いたします。

②学年理事の活性化

- 経和会活動の中心となる学年同期会等に活動資金を援助し活性化を図ると共に学年理事の増加を図ります。学年理事を多数選出できる様、ホームページに記事を掲載することを条件に同期会活動の費用補助（@ 1万円/年）を行います。

③職場・地域同窓会の活性化

- 一部の企業では職場単位で同窓会を組成し、相互交流活動を行っていますが、新規に職場単位での同窓会の立上げや活動の活性化のための支援も合わせて検討致します。
- 職場同窓会に対しホームページに活動内容を投稿することを条件に費用補助（@ 1万円/年）を実施します。
- 名古屋支部、関西支部等の地方における同窓会の活動活性化策として、運営の費用補助を行う他、地域理事（まとめ役）に名簿データを提供します。

(6) 会報

- 会員メーリングリストを活用した、メール版経和会通信を発行します。

(7) 会員名簿

- メーリングリストの活用を推進します。
- 学年理事に同期名簿データ（名前、住所、TEL、メールアドレス、就職先）をオープンにして、同期会活動の活性化を図ります。

(8) 総会・理事会の運営

- 社会状況にあわせ、オンライン対応とライブ対応を検討していきます。総会を構成する「議事」、「基調講演」、「懇親会」の3部それぞれについて、経和会の最高意思決定機関にふさわしい、会員の参加促進、闊達な討議が行なわれるような総会運営の工夫を図って参ります。
- 理事が各会議に積極的な参画を招請するため、経和会通信等を通してタイムリーな情報発信を行います。永く音信不通の理事には積極的に貢献頂ける理事への交代をお願いして参ります。
- 広く会員の参加を求める共に、総会の懇親会費は経和会負担と致します。
- 総会の議案について、総会前に理事会を開催し、その内容について慎重に吟味します。また、理事会は会則に則り適宜開催致します。

(9) その他支援等

大学当局及び他の同窓会組織などからの各種支援要請については、内容を吟味の上、出来る限りの支援を検討致します。また、経和会のブランド価値向上、引いては埼玉大学経済学関係の卒業生のブランド価値向上のための地域交流活動を積極的に行います。